

愛産研 ニュース

愛産研ニュース
平成15年2月5日発行

No.11

編集・発行
愛知県産業技術研究所 企画連携部
〒448-0003 刈谷市一ツ木町西新割
TEL 0566(24)1841 ・FAX 0566(22)8033
URL <http://www.airi.aichi-iic.or.jp/>
E-mail knk-webmaster@aichi-iic.or.jp

2月号
2003

今月の内容 多彩な素材による繊維産地の活性化と新たな市場への取り組み
バイオ加工によるウォッシュブルウール製品の開発
PCR法による羊毛とカシミヤの鑑別

多彩な素材による繊維産地の活性化と新たな市場への取り組み

長引く消費低迷と中国を始めとするアジア諸国との激しい競争の中、繊維業界では、多彩な素材の活用や高機能化による海外製品との棲み分けが求められています。産地業界では、産地の活性化と新たな市場への取り組みに向けて、肌触りの良さを訴えた触感素材や環境の負荷軽減を配慮したエコロジー素材、心地よさを狙った快適素材を新しい撚糸技術、製織技術で複合化し、従来にない商品を開発に意欲的に取り組んでいます。触感素材としては、日本の風土に合う清涼感のある天然素材が見直され、新製法の毛羽の少ない綿や羊毛、高級獣毛による新たな商品展開が進展しつつあります。エコロジー素材としては、今まで使われたことのないバンブー（竹）や笹、紙等が新感覚の素材として使われています。また、快適素材としては、吸汗速乾性や軽量性、ストレッチ性を持った素材が浸透し、さらなる高機能化織物の開発が進められています。

12月に東京で開催された繊維総合見本市（JAPAN CREATION 2003）における尾州産地の注目商品例として、高級獣毛のアルパカ（ラクダの1種）やカシミヤ（ヤギ）100%使いの光沢のあるしなやかな織物、羊毛と紙糸や意匠撚糸等を交織したバラエティ豊かな新しい感触の織物が脚光を浴びていました。この他、とうもろこしをもとにした生分解性のポリ乳酸繊維、農薬等を使わず肌に優しいオーガニックコットンやオーガニックウール、軽量ストレッチ素材等が、環境や健康をキーワードに一段と注目を集めていました。

尾張繊維技術センターでは、このような多彩な糸素材に対応して種々の研究を進めております。織物企画・設計及び製織上の技術ポイントについて解析を行い、技術相談・指導に活用しています。

一例として

ソフトストレッチ織物では、

たて糸張力、伸長率に応じたたて・よこ糸密度及びヒートセット温度等の設定方法

撚加工等による素材の複合化では、

布目曲がりを防ぐための糸のトルクバランスと布地内のたて・よこ糸の応力バランスの計算方法

生分解性繊維等のデリケートな糸素材では、

たて・よこ糸張力変動による筋・段を防ぐための織機上の適正な張力制御方法

などがあります。

この他、織物の微妙な表面光沢、仕立て映え、あるいは肌触りの良さが求められる新たな市場へ向けて、当センターは産地企業とのコラボレーションにより新製品の開発に取り組んでいます。

（尾張繊維技術センター 大野 博）

